



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■

「盲導犬ほえず」

八月28日(木) 付けの『羅府新報』に、「2、3カ所刺されても我慢：男性を職場へ」「盲導犬ほえず『任務』貫く」という記事が目飛び込んできた。

埼玉県で7月、全盲の男性が連れていた盲導犬が電車内か駅周辺で何者かに刺され、けがをしていたことが27日、県警などへの取材で分かった。訓練された盲導犬のために刺されても泣き声を我慢したとみられ、犯行現場は未特定。インターネット上で「許せない」との声が相次ぎ、県警は器物損壊容疑で捜査中。武南署や男性の関係者によると、事件は7月28日に起きた。午前十一時ごろ、さいたま市の男性(六一歳)が職場に向かうため、ラブラドルレトリバー「オスカ1」(雄9歳)を連れて自宅を出発、JR浦和駅から電車に乗り東川口駅で下車した。職場に到着後、同僚がオスカ1のけがに気付いた。先端の鋭くどがったもので腰の辺りを2、3カ所刺されていた。手当てを受けて回復し、現在は元気に男性と生活している。盲導犬はパートナーに危険を伝える際などを除き、無駄な声を上げないように訓練されており、オスカ1は痛みをこらええなかったとみられる。男性は被害届を提出し、同署が防犯カメラの解析や聞き込みなどの捜査を進めている。身に着けていた大用のシャツに穴はなく、犯人は意図的にシャツをめくり上げて刺した疑いが強いという。ネットでは男性の職場関係の書き込みから広まり、「犯人を捕まえて」などと話題になった。

ヘブル書の記者は主イエスについて、「彼(イエス)は、モーセが神の家の全体に対して忠実であったように、自分を立てたかたに対して忠実であられた」(三・2)と記している。世界で、この忠実という点において、主イエスに優る人はいない。初めから十字架で殺されることを知っていたいながら、ほふられてゆく羊のように黙々とそれに向かって進んで行ったのであるから。それは全人類の罪をその双肩に背負って死ぬことにより、主に従うすべての人に永遠の命を与えるために他ならない。それが人類に与えられた唯一の救いだったからだ。盲導犬はどんなことがあっても主人を支え、その命令に従う。それが仕事である。それにしても刺されてよく吠えなかったものだ。その忠実さには頭が下がる。訓練されると、そこまで仕上げられてゆく。自分の信仰生活もどこまで整えられてゆくのか誠心もとないが、忍耐深い忠実な主の僕でありたい。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

